

広報

くのへ

2018
No.721

4

英姿颯爽
破顔一笑

さっそう

(3月11日、オドデ塾ふれあい演芸まつり―関連記事20頁―)



主な内容

五枚橋村長が所信表明演述……………	2～5	舞踊発表会……………	10
平成30年度当初予算……………	6～7	櫻庭真悟さんに乳質改善大賞……………	11
胃がん検診を受けましょう……………	8	オドデ塾ふれあい演芸まつり……………	20

① 産業の創出

第1回村議会定例会は3月5日から3月15日までの11日間、役場本会議場で開かれました。議会で五枚橋久夫村長は「地域コミュニティ活動の充実と地域活性化への取り組みを支援し、協働による村づくりを推進します」と所信を述べ、村づくり全般にわたる基本的な考えと主な施策を明らかにしました。ここでは、村長の所信表明演述の主な施策を紹介します。(2〜5ページ)

1 魅力ある産業の創出

◆農業振興

- ▽農地の集積と遊休農地の解消と青年などの就農促進策の強化を推進
- ▽農業次世代人材投資事業を活用し担い手を支援する
- ▽ナインズファームを核として多様な人材を育成する
- ▽農作業の効率化を図るため基盤整備を促進し、農業環境の整備を推進する
- ▽水稲は生産調整が廃止されたが、農業者の所得確保

のため単収向上を目指す
 ▼主要重点推進作物4品目を中心に栽培指導体制を強化し、魅力ある農業経営を推進する

▽リンドウの新植支援などを推進しながら花卉振興を図る

▽省力化機械の導入や後継者の育成支援などを推進し、葉タバコの振興を図る

▽優良な繁殖牛導入の支援を行い、畜産の振興を図る

▽鳥インフルエンザ対策は関係機関と連携し、不測の事態に対応できるよう体制を整える



水稲は単収向上を目指します

▽村営戸田牧野は、飼養管理の徹底を図り適切な運営に努める

◆林業振興

▽木炭生産施設整備事業補助金制度を有効に活用し、製炭経営の安定化および木炭生産環境の近代化を支援する

▽村林業基盤整備事業を活用し、作業道利用者の利便性を図るとともに、林道の適切な管理に努める

◆商工業の振興

▽中小企業金融対策利子補給事業を継続しながら、各種祝い金や助成事業には村

共通商品券を活用する
 ▼商店街のにぎわいづくりのため、商工会の活動支援を強化する

◆企業誘致

▽立地条件の優位性と支援制度をPRしながら、引き続き企業誘致に向けて努力する

◆観光振興

▽道の駅おりつめ「オドデ館」を核に、受け入れ態勢の整備を図り誘客活動を推進する

▽政実くのへFMを村観光情報発信事業として位置付け、引き続き取り組む



農業の担い手を支援します
 (ナインズファーム)

共に歩む



FMで観光情報を配信
 (ふるさと元気隊)

協働の村

2 楽しく子どもを育てる村

◆子育て支援

▽乳幼児健診と5歳児健診を行い、幼児と保護者を支援する
▽健診補助や出産に係る経費負担の軽減を図り、さわやかハッピーファミリー祝

い金の交付や医療費助成事業を実施する

▽大幅な保育料軽減を継続し、子育て家庭に多様な支援をする

▽高校生まで拡大している医療費助成は継続実施する

◆保健医療の充実

▽小児予防接種を全額補助で、対象者全員が接種できるように進める

▽高齢者肺炎球菌ワクチン接種は、5年計画で全高齢者が接種できるように、半額程度の補助を進める

▽医師による悩み事相談、保健師の出前相談、おしゃべりサロン「ひだまり」など



所信表明を述べる五枚橋久夫村長



負担軽減を図り子育て支援（乳幼児健診）



介護予防教室を継続します（男の介護予防料理教室）



保育料軽減を継続します（伊保内保育園で食育キャラバン）

どの予防活動を継続する
▽国民健康保険特別会計は4月から運営が村から県に移行するが、負担が激変しないようにする

を推進する
▽介護予防教室、水中ウォーキング事業などを実施する
▽あつたか生活支援事業を継続実施する

◆障がい者福祉の充実

▽地域活動支援センター「エール」の活動支援や高齢者・障がい者に優しい住まいづくり事業などで障がい者の生活を支援する

◆地域福祉の充実

▽いきいきふれあい集会所、子育てサロン、配食サービス、移送サービスは継続実施する

◆高齢者福祉の充実

▽在宅医療・介護連携推進事業や認知症総合支援事業

▽災害時における避難支援については、要支援者台帳を随時更新し、大規模な自然災害に対し、備えを万全にする

3 心豊かな村民を育む教育

◆学校教育の充実

▽望ましい教育環境基本計画案により、住民説明会などで出た意見を反映させ、小学校を1校に再編し、小中一貫教育の導入に向けて計画を進める

▽小規模校のデメリットを解消するためのナインズ学習では、効果を高められるように内容の充実を図る
▽小学校での外国語教育は平成32年度全面実施に向けて準備していく

◆社会教育と生涯学習の充実

▽メディアとの上手な付き合い方の実践を積み重ねると同時に、読書と家庭学習に取り組むよう支援する
▽九曜塾では、地域と学校が連携して協働して子どもの成長を支える

◆文化芸術の振興

▽伝統芸能の発表と鑑賞機会を設け、その保存と継承活動を支援する



小学校を再編し小中一貫を導入
(スマイルサポート支援事業)



九曜塾では地域と学校が連携し
子どもの成長を支えます

3 教育文化

4 環境保全



健康づくりに連動したスポーツ活動を推進 (村民体育大会綱引き競技)

◆スポーツの振興

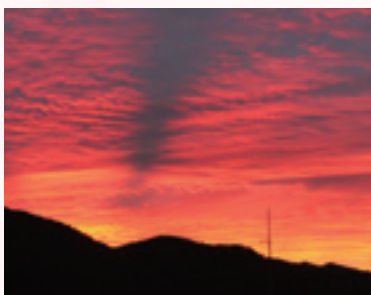
▽健康づくりに連動したスポーツ活動を推進する

◆伊保内高等学校の支援

▽人間性・社会性を育む部活動・芸能委員会を支援する

▽小規模校の長所を生かした魅力ある学校づくりを進めている、伊保内高等学校の存続を強く要望していく

4 美しい自然をいつまでも



豊かな自然環境の保全を目指します

◆ごみの減量化

▽生ごみ電動処理機とコンポストへの助成制度を継続し、それらの普及に努め、ごみの減量化を目指す
▽大掃除点検やクリーン九戸行動日を継続し、今後もごみの減量化や環境美化に努める



伊保内高等学校の存続を要望していく (郷土芸能委員会が全国高文祭出場)

5 快適で安全な村

◆交通網の整備

▽村道整備として改良舗装工事2路線、舗装修繕工事1路線、法面工事2カ所を実施する
 ▽橋梁修繕工事1カ所を行い、住民と協働しながら村道の維持管理に努める

◆住宅整備の推進

▽平成30年度は若者定住促進住宅を長興寺地区に2棟整備する



若者定住促進住宅を
長興寺地区に2棟整備予定

◆上下水道

▽下水道事業資産評価を実施し、経営状態を把握し経営の健全化につなげる
 ▽上水道の経営戦略を策定し、安全で良質な水の安定供給に努める

◆交通安全対策

▽交通死亡事故防止や、飲酒運転根絶に向けた取り組みを強化する



安全で良質な水の
安定供給に努めます

◆防犯対策

▽住民の防犯思想・安全意識の高揚を図るとともに、安心・安全な村づくりになお一層努力する

◆消防防災

▽小型動力ポンプ1台、同積載車1台、本部指令広報車1台を更新する
 ▽消防施設・機械器具の整備、充実を進める

◆消費者対策の充実

▽安全・安心に暮らせる地域社会づくりを目指して、消費者行政に継続して取り組む



消防施設の充実を進めます
(村ポンプ操法競技会)

6 みんなでつくる協働の村

◆協働の村づくりを推進

▽住民参画による地域コミュニティ活動の充実と地域活性化への取り組みを支援する

▽集落環境整備事業補助金と地域コミュニティ活動助成事業の活用を促進する

◆行財政改革の推進

▽村独自の施策をできる限り継続しながら、従来の発想や、既存の枠組みにとらわれない抜本的な行財政改革を推進していく



地域活性化の取り組みを支援
(ピット・マシニューズジャズライブ)



地域コミュニティ活動を推進
(戸田地区大運動会)



協働の村づくりを支援
(銚子の雨堤み)

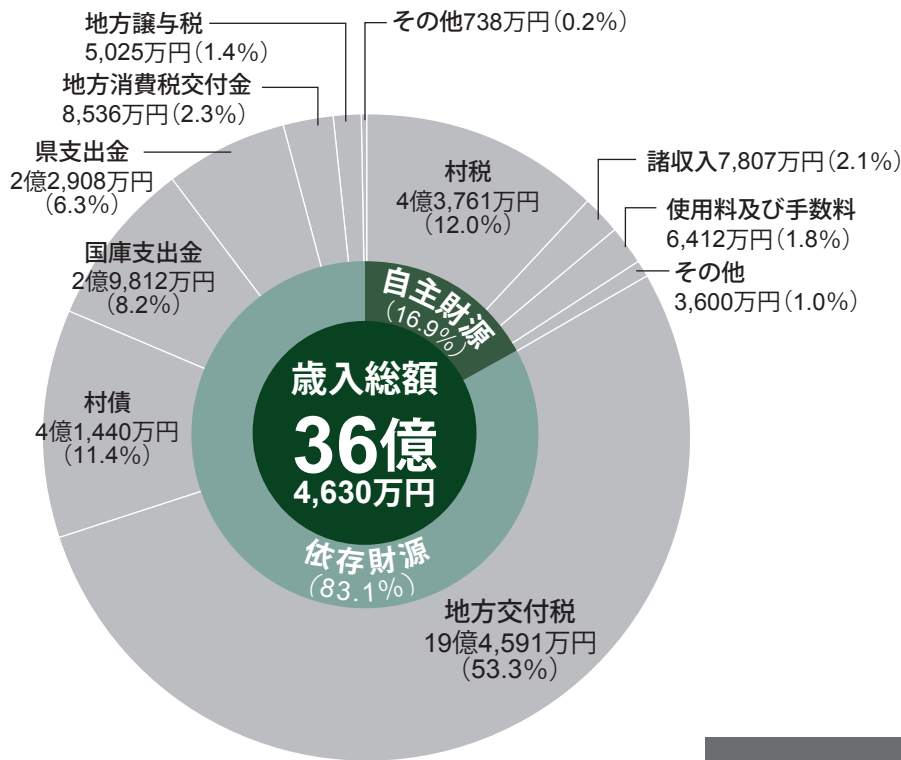
5 安全な村

6 協働の村

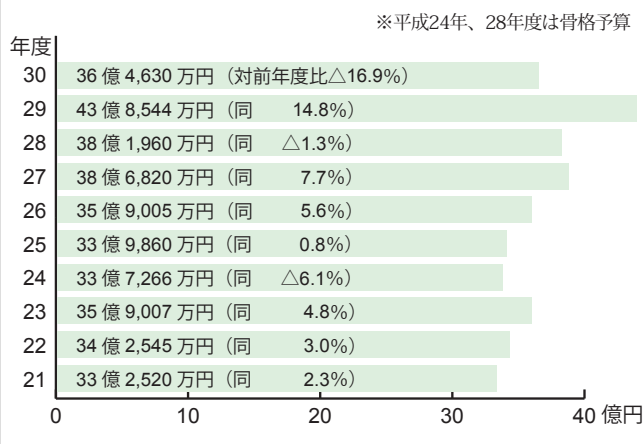
30年度当初予算

36億4630万円

前年度比17%減



一般会計予算の推移



用語解説・歳入

- 【地方交付税】 財政力に応じて国から配分されるお金。
- 【村債】 村が国などから借りるお金。
- 【自主財源】 村が自主的に収入することができる財源。
- 【依存財源】 国や県から定められた額を交付される財源。

各会計別の予算と伸び率 (△はマイナス)

会計名	平成29年度	平成30年度	伸び率
一般会計	43億8,544万円	36億4,630万円	△16.9%
特別会計			
国民健康保険	8億5,497万円	6億4,474万円	△24.6%
後期高齢者医療	5,703万円	6,144万円	7.7%
農業集落排水事業	2,918万円	3,648万円	25.0%
下水道事業	1億2,841万円	1億6,691万円	30.0%
索道事業	1,730万円	1,731万円	0.1%
戸田財産区	609万円	519万円	△14.8%
伊保内財産区	563万円	759万円	34.8%
江刺家財産区	666万円	634万円	△4.8%
水道事業	1億3,982万円	1億3,318万円	△4.8%
合計	56億3,053万円	47億2,548万円	△16.1%

村民一人当たりへ換算

- 予算額 617,808円 (前年度725,346円)
- 村税 74,146円 (同 70,030円)
- 借金(村債)残高 784,679円 (同 788,704円)

※数値は一般会計。人口は5,902人(平成30年2月末現在住民基本台帳人口)、村債は30年度末残高見込みで計算。

一般会計

前年比17%減

平成30年度の一般会計当初予算は、昨年度当初予算を7億3914万円(16.9%)下回る、36億4630万円となりました。

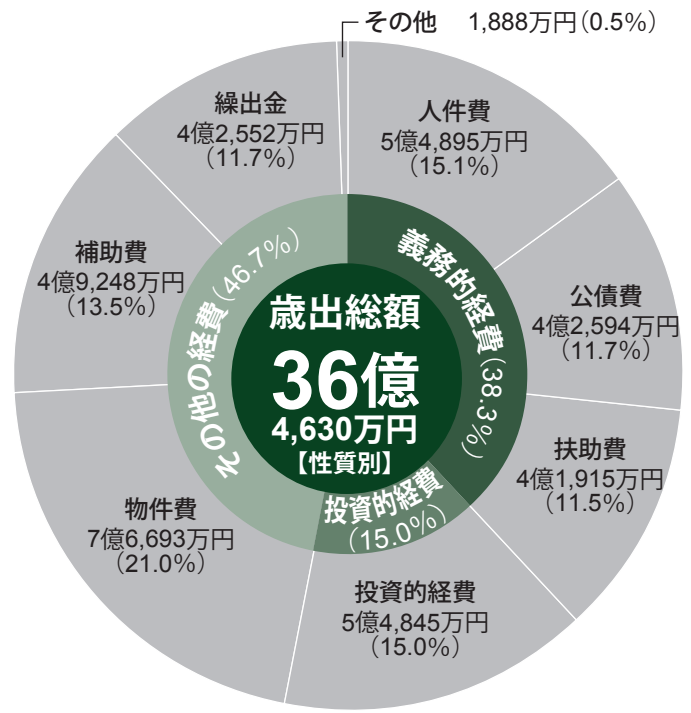
また、一般会計に特別会計や水道事業会計を加えた総予算は47億2548万円で、昨年度より9億505万円、1.1%少なくなっています。

歳入

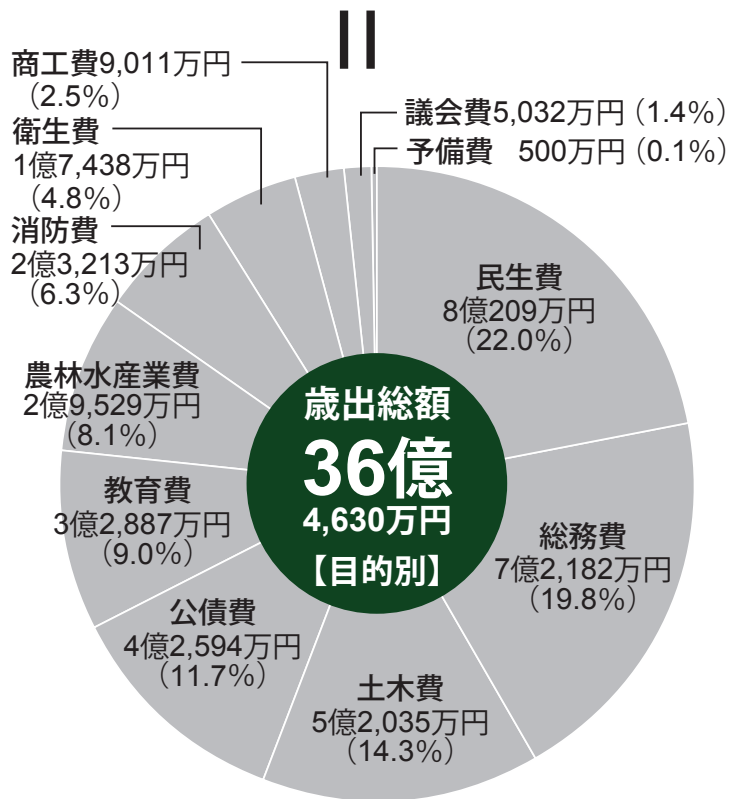
交付税が全体の53%

一般会計予算の歳入を見ると、地方交付税が19億4591万円で全体の53.4%(昨年度比8.4ポイント増)を占めてトップ。次いで村税、村債、国庫支出金と続きます。自主財源は、昨年度を4804万円(8.5%)上回る6億1580万円となりました。村税は1421万円(3.4%)増となっています。依存財源は前年度より7億8718万円減少しました。

主な投資的事業	
合併処理浄化槽整備事業補助金交付事業	1,024万円
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	1,215万円
経営体育成支援事業	780万円
農道改良事業	960万円
農業生産基盤整備事業	6,480万円
林道改良事業	699万円
まちの駐車場改良事業	671万円
住宅リフォーム等助成事業	410万円
道路維持補修事業	3,035万円
村道新設改良事業	2億1,224万円
橋梁長寿命化修繕事業	4,317万円
定住促進住宅建設事業	6,940万円
小型動力ポンプ積載車更新事業	900万円
消防防災指揮広報車更新	603万円
長興寺地区管渠移設詳細設計業務委託	7,938万円
九戸浄化センター機械設備更新工事	589万円



水道事業会計予算の内訳	
◆ 収益的収入・支出（1年間の損益取引）	
・ 収入…1億3,318万円	・ 支出…1億3,318万円
◆ 資本的収入・支出（投下資本の増減に関する取引）	
・ 収入…1,351万円	・ 支出…7,199万円
※収入不足の5,848万円は過年度分損益勘定留保資金等で補てんされます。	



用語解説・歳出

【公債費】 村債（借金）の返済に充てるお金。
 【扶助費】 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、などの法令に基づいて支出する経費。
 【物件費】 委託料、賃金、旅費、役務費など。
 【義務的経費】 人件費や扶助費などのように、村の機能を維持していくために必ず支払わなければならない経費。
 【投資的経費】 道路の建設などのように、施設が将来に残るものに対する経費。

歳出

民生費が22%でトップ

歳出を性質別に見ると、人件費や公債費、扶助費を合わせた義務的経費が0.6%増の13億9403万円。これにその他の経費を加えた一般行政経費は30億9785万円となり、前年度より0.7%増加しました。投資的経費は前年度より7億6040万円（58.1%）少ない、5億4845万円となりました。

目的別では、民生費（福祉対策や保育園などの経費）が8億209万円となり、全体の22.0%でトップ。次いで、総務費（住民サービスや一般事務経費）が7億2182万円と続き、全体の19.8%となっています。

増加率が最も高かったのは商工費（495万円≡5.8%の増）となり、続いて民生費（2211万円≡2.8%の増）となりました。

一方、減額率が最も高かったのは農林水産業費で、前年度を5億4169万円（64.7%）下回りました。

胃がん検診を受けましょう

胃がんは、がんの中で最もかかりやすいがんです。しかし、早期発見をすれば経過良好で、ほぼ治すことができます。検診を受けて胃がんの予防、早期発見に努めましょう。

《検査日程》

月日	曜日	会場	対象地区
4月9日	月	江刺家ふるさとセンター	田代、柿の木、丸木橋、山屋、細屋
4月10日	火	村老人福祉センター	平内、妻の神、戸田上・下、戸田館の下、山根
4月11日	水	江刺家ふるさとセンター	江刺家上・下、道地
		村保健センター	荒谷、二ツ家、鹿島
4月12日	木	村保健センター	川向、南田、小倉
4月13日	金	宇堂口地区農村婦人の家	瀬月内、宇堂口、泥の木
		長興寺多目的集会施設銀杏会館	長興寺上・下、大向、五枚橋、荒田、雪屋
4月15日	日	村保健センター	伊保内上・下、休日希望者

受付時間は午前6時～午前8時です。

※検診の混雑を防ぐため、地区毎に検診日を指定しています。

指定日に都合がつかない場合は、上記のいずれかの日程に受診してください。

■検診料 1800円

※住民税非課税世帯と70歳以上（平成30年4月1日現在）の人は無料です。

■対象者 40歳以上（平成30年4月1日現在）※勤務先で同検診がある場合は、そちらで受診しましょう。

■受診できない人

- 妊娠中、妊娠している可能性がある
- 胃・十二指腸の切除手術をした
- 胃疾患で定期的に検査を受けている
- バリウムによるアレルギー反応を起こしたことがある
- 腸閉塞・腸管憩室炎を起こしたことがある
- 気管支炎・肺炎で治療を受けたことがある
- 腎臓疾患や心臓疾患などで水分制限をしている
- 2日以上便通がない
- 飲食でむせやすい

■受診時の注意

生ごみを減らそう

平成28年度の九戸村のごみの排出量は1568トで、そのうち一般家庭からのごみの排出量は1219トでした。さらにそのうちの923トが燃えるごみでした。その燃えるごみの4割が生ごみと言われており、370トほどが生ごみだったと予想されます。

生ごみの排出量を半分に減らせば、185トほど九戸村のごみの排出量を減らすことができます。

九戸村のごみ処理に係る費用は、平成28年度およそ6900万円でした。単純に比較できるものではありません。

○ 検診前日の夕食は、午後9時ごろまでに済ませてください。お酒は飲まないでください。

○ 検診当日は検診終了まで絶食です。たばこは吸わないでください。

■問い合わせ

住民生活課保健衛生班 ☎ 42・2111内線122

生ごみ処理機購入費助成の概要

種類	助成金額	助成金上限額	助成限度個数
電動生ごみ処理機	購入価格の1/2以内の額	30,000円	5年に1個
生ごみ処理容器（コンポスト）		3,000円	3年に2個

りませんが、生ごみの排出量を半分に減らせば、ごみ処理に係る費用をおよそ815万円削減できることとなります。

ごみの排出量を抑えるため、九戸村では、電動生ごみ処理機やコンポストの購入費の一部を助成しています。これらを手元に活用し、生ごみの排出量を減らしましょう。また、生ごみを燃えるごみとして出すときは、十分に水切りを行い、重量を減らして出しましょう。

平成30年度

村職員の人事異動

村職員の人事異動が4月1日付で発令されました。(カッコ内は異動前の職名)

【課長級】

▽総務企画課長兼地域振興班長(総務企画課長) 中村学

▽会計管理者兼税務会計課長兼会計班長(農林建設課長兼水環境班長兼農業委員会事務局長兼水道事業所長) 岩崎一弘

▽住民生活課長兼総合福祉センター所長兼地域包括支援センター所長(総務企画課長補佐兼地域振興班長) 坂野上克彦

▽農林建設課長兼農業委員会事務局長兼水道事業所長(教育委員会事務局教育次長補佐兼生涯学習班長) 杉村幸久

▽議会事務局局長(議会事務局長補佐) 大向一司
▽教育委員会事務局教育次長(会計管理者兼税務会計課長) 高倉孝一

【課長補佐級】

▽総務企画課長補佐兼庶務財政班長(住民生活課主任) 柳平善行

▽住民生活課長補佐兼国保住民班長(総務企画課長補佐兼庶務財政班長) 松浦拓志

▽住民生活課長補佐兼保健衛生班長(農林建設課長補佐兼生産振興班長) 中奥達也

▽農林建設課長補佐兼生産振興班長(農林建設課主任) 細川忍

▽農林建設課長補佐兼水環境班長(住民生活課長補佐兼国保住民班長) 上村浩之
▽農林建設課主査(総務企画課主査) 岩崎浩美
▽議会事務局長補佐(住民生活課長補佐兼保健衛生班長) 野辺地利之

▽教育委員会事務局教育次長補佐兼生涯学習班長(税務会計課長補佐兼会計班長) 晴山美佐子

▽伊保内保育園長兼戸田保育園長(ひめぼたるこども園長) 橋本幸子

▽ひめぼたるこども園長(戸田保育園長) 上山恵子

いかのおすしを誓う

村カシオペア防犯・交通安全教室が2月15日、H O Zホールで行われました。

4月から小学校に入学予定園児42人が参加し、新たに始まる学校生活に向けて必要な知識を確認しました。

県警本部から駆け付けた警察官たちが交通ルールを指導。信号機の見方や横断歩道の渡り方などを指導し、園児たちは交通マナーを確

認していました。

また近未来警察カシオペアも駆け付け、防犯対策について学習しました。いかない、のらない、おごごえで叫ぶ、すぐ逃げる、しらせるを合い言葉にした防犯標語「いかのおすし」を学びました。最後に音楽に合わせてダンスを踊り、いかのおすしを守ることを誓っていました。



横断歩道の渡り方を学ぶ
新入学予定園児

【主任級】

▽税務会計課主任(住民生活課主任) 和田沙耶香

【主事級】

▽総務企画課主事(税務会計課主事) 岩淵信毅

▽総務企画課主事(教育委員会事務局主事) 佐賀友洋
▽税務会計課主事(総務企画課主事) 下村明

▽税務会計課主事(農林建設課主事) 向井祐貴

▽税務会計課主事(住民生活課主事) 南公太

▽住民生活課主事(農林建設課主事) 久保太毅

▽住民生活課主事(農林建設課主事) 櫻庭和輝

▽農林建設課主事(総務企画課主事) 八重樫秀昭

▽農林建設課主事(税務会計課主事) 山本拓洋

【主事補級】
▽総務企画課主事補(税務会計課主事補) 前川和也

【新採用】
▽高倉拓真(住民生活課主事補)

▽久保和(住民生活課保健師)

▽蒲田諒介(教育委員会事務局主事補)

【再任用】

▽吉川清一郎(総務企画課)

▽古館英一(総務企画課)

▽小野寺正(農林建設課)

▽上村勝己(教育委員会)

▽欠端哲代(戸田保育園)

【退職者】(3月31日付)
▽吉川清一郎(住民生活課長兼総合福祉センター所長)

▽坂下守男(議会事務局局長)

▽野辺地実(教育委員会事務局教育次長)
▽小井田まき子(伊保内保育園長)
▽古館里美(住民生活課保健師)

m u r a n o w a d a i むらのわだい



風張則子さん、萌々さん、尾友璃音さん、和田心花さん、尾友百合子さん

舞踊発表会

可憐な踊りにたくさんのお花

村舞踊研究会が主催する舞踊発表会が2月18日、HOZホールで行われました。この日を楽しみにしていた来場者が村内外から多数訪れ、癒しのひとときを満喫していました。ステージでは会員の皆さんが熟練の技を遺憾なく披露し、29演目を演じました。第35代青森県民謡王座を獲得した下田清美さんなどをゲストに迎え、華やかな歌声が会場を盛り上げていました。あでやかな衣装を着飾り、しなやかで可憐な演舞が披露されると、観衆からたくさんのお花が届けられていました。



三上紀子さんの歌に乗せて南部俵積み唄を軽やかに演舞



オープニングで皆の衆をあでやかに踊りました

48人が九戸中学校を卒業

夢に向かい力強くまい進

九戸中学校で3月14日、卒業証書授与式が行われました。義務教育を終えた48人が吉田竜二郎校長から卒業証書を授与されました。担任の先生から呼名された生徒は元気よく返事をし、堂々とした態度で式に臨み、夢に向かって力強く踏み出していました。卒業生を代表して下川原一将君が「九戸中生として自信と誇りを持ち、いかなる困難にも立ち向かっていきます」と答辞を述べました。式の後には卒業生と在校生がお別れの合唱交換。互いに築いてきた思い出を胸に、別れを惜しみながら感謝の気持ちを歌に乗せてエールを送り合っていました。



本の世界へいざなう樹原ゆりさん（左）と高橋和久さん

くのへ朗読会に170人

情感あふれる朗読に涙

くのへ朗読会は2月23日、HOZホールで行われました。今回で9回目を迎えた朗読会に、これまで最多となる村内外から約170人が来場し、本の世界を満喫しました。樹原ゆりさんが子ども向けに2話を朗読。大人向けに高橋和久さんと2人で浅田次郎の作品、ラブレターを朗読しました。本の中の世界がまるで目の前に浮かんでくるような、臨場感あふれる朗読に来場者は引き込まれ、本の世界にどっぷりとひたっていました。朗読が終わった後、来場者からはすばらしい朗読に涙があふれてきたとたくさんの方が話していました。



友と育んだ友情を糧に、大きく旅立つ九戸中卒業生



県乳質改善大賞を受賞した、櫻庭真悟さん

10周年特別表彰も受賞 櫻庭さんに乳質改善大賞

2月9日、盛岡市内のホテルで平成29年度県乳質改善大賞表彰式が行われ、本村から櫻庭真悟さん（戸田下）が受賞しました。この大賞は優れた乳質を維持した優秀な農家の中から、年間出荷乳量が180トン以上で、1年間続けられる乳質検査で、1ml当たりの細菌数、体細胞数、乳脂肪分、無脂肪固形分率などの厳しい審査基準を満たした農家選ばれていきます。

櫻庭さんは平成27年から3年連続、延べ4回目の大賞を受賞。この功績がたたえられ、県乳質改善大賞10周年特別表彰が併せて贈られました。



津軽じょんから節を踊る（左から）



井上ひろみさんの歌に合わせて
沢内甚句を踊りました



優秀な成績を収めた農業生産者へ表彰状が贈られました

村農業生産者の集い 収穫感謝し豊年祈願

村農業生産者の集いが2月22日、HOZホールで開かれました。農業関係者が集まり、昨年の収穫に感謝するとともに、今年一年の豊作を祈願しました。昨年は低温で日照不足が多く、米の作況指数は県北部で94と8年ぶりの不良となり、農家には厳しい年となったことを報告。また、東北農政局の阿部尚子さんが、米と畜産をめぐる情勢について講演。これまでの米の需要量の推移や、米に係る施策について説明しました。さらに農作物15品目において優秀な成績を収めた48人に表彰状が贈呈され、その功績がたたえられました。

シルバーリハビリ体操の集い 体操で創出 にこやか笑顔

シルバーリハビリ体操の集いが3月7日、HOZホールで開かれました。健康寿命の延伸を目指そうと村民108人が集まり講演を聞き、理解を深めました。いつでも、どこでも、一人でも、1日1ミルを合い言葉に、自分で自分の体を守ろうと意識を高めていました。参加者は指導者の教えを受けながら、無理せず体操に励んでいました。体操後の参加者は満足そうな表情を浮かべ、にこやかな笑顔が広がっていました。



楽しみながら体操に励む参加者

明選啓発習字コンクール

村選挙管理委員会と村明
るい選挙推進協議会が主催
する、第28回村明るい選挙
啓発習字コンクールが2月
に行われました。

コンクールには村内小学
校児童から、39点の応募が
ありました。感性あふれた
力強い自信作が数多く出品
されました。

審査員7人による審査の
結果、16点が入賞し、上位
3賞の入賞者を紹介します。

◆村選挙管理委員会委員長賞

榎本陽菜（戸田小6年）

◆村明るい選挙推進協議会
会長賞

中澤悠空（戸田小6年）

◆優秀賞

中澤萌那（戸田小2年）

山下愛望（戸田小4年）

古館心伽（長興寺小4年）

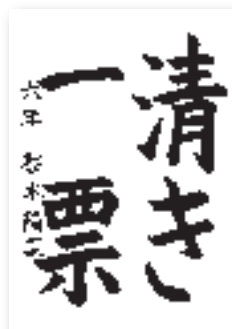
橋本くるみ（伊保内小5年）

山下華歩（戸田小6年）

（敬称略・学校名・学年は入
賞時）



中澤悠空さんの作品



榎本陽菜さんの作品

◆村選挙管理委員会委員長賞

海外体験を今後に生かす

村青少年海外派遣事業報
告会が2月23日、HOZホー
ルで行われました。九戸中
学校2年（当時）の中村ふ
みさん、細川乃愛さん、三
澤ののかさん、野辺地心君、
伊保内高等学校2年（当時）
の本堂歩さんが10月23日か
ら11日間、アイルランドに
行き研修した成果を一人ず
つ発表しました。

ピアスやメイクをして通
学している生徒に驚いたこ

とや授業はタブレット端末
を使い進めていることなど
学校生活の違いを学習した
こと、自分の言葉で伝える
ことの大切さを学んだこと
などを堂々と発表していま
した。

海外派遣を経験して一回
り大きく成長した生徒たち
は、異文化に触れ学んだ貴
重な体験を、これからの生
活に役立てていきたいと話
していました。



海外派遣を経験し学んだ
成果を発表する派遣生

エフエム九戸支局が新体制に



4月から新体制でスタートする
エフエム岩手九戸支局

平成26年7月から開局し
ているエフエム岩手九戸支
局。本年度は荒屋敷等（ひとし）司さ
んを新支局長に迎え、引き
続き毎週水曜日正午から放
送します。また、道の駅お
りつめオドデ館と街の駅ま
さざね館、お休み処んだ・
なすの3カ所に感想用紙を
設置。支局員は「これから
も村民の皆さんと一緒に番
組を作っていきたい」と意
欲を見せています。

わが家の人気者

1歳のお誕生日おめでとう☆



けいし
小笠原 圭志くん

4月10日生まれ/次男/荒谷

(父)隆大さん(母)花織さん

「元気いっぱい健康に育ってね」
お父さん・お母さんより

◎5月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!! 希望
する人は4月10日(火)までに、写真(データも可)
を広報担当(☎42-2111 内線167)まで持参ください。

友達の輪 36



まつもと しほ
松本 志穂さん

35歳・江刺家下

平成24年に豊太さんと結婚し長女琴葉ちゃん(5)、次女詩ちゃん(0)の2人の子どもに恵まれました。学校卒業後、美容師として働いています。

◆趣味は？ 琴葉ちゃんと絵を書いたりお散歩をすることが多いです。

◆一番の癒しは？ 川の字になり子ども2人と寝るときが安らぎますね。

◆やってみたくことは？ 自分のスキルアップをしているいろいろなことに対応できるように勉強していきたい。

◆将来の夢は？ 自分の店を出店し、自分で仕事をしていきたいですね。

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介していくコーナーです。

元気スマイル 37



やまもと いさお
山本 勇さん

昭和11年11月18日生・81歳(戸田下)

8歳の時、戦争で父を亡くし22歳でタケさんと結婚。野菜や酪農を生業とし、子4人を育てました。

◆趣味は？ 旅行が好きで国内は四国以外の全県に行ってきたよ。

◆幸せだったことは？ 農業などで立てた目標が達成できた時はうれしかったね。

◆目標は？ 九戸村に伝わる口伝集を、もう一冊発行したいね。

◆一番の思い出は？ 昭和51年に長倉から牛の馬場へ引つ越してきたことが記憶に残っているよ。

むらの文芸

第359回 くのへ俳句会

菅野 岑子

娘に送る冬至南瓜もその中に
枯るるもの枯れつくしたる里の景
教え子と忘年の酒酌み交はす
峠路を来てもてなさる根深汁
本堂の静けさにある寒さかな

高島ふみ女

粗壁の築六十余年目張り剥ぐ
肥沃なる野菜団地や水温む
露の臺固き蕾で土もたげ
添書に思いの深き春だより
土台石傾ぐ雪解や古屋敷

父母の齢とうに越えたり彼岸前

冬部 雪女

水温む介護予防の集ひあり
三回忌修し心の目貼はぐ
里人の絆の深し露のとう
風光るパノラマ絶景就志森
湯の華に熱海気分や春隣
開店の「小茶屋」の風雅梅つぼむ

田村 畦畔

日射し浴び土手に早くも露の臺
目貼はぐ日はいつ来るや峽に住む
降れば溶け融れば降りて春の雪
凍て返るまさかの転倒頭打つ
仏前で朝の語らい涅槃西風
列島に春の嵐や三度四度

館村 青村

村里の浩然の気や水温む
深閑と明けゆく村や遠霞
寂寞と暮れゆく在や春の雨
春や春奇巖峙つ熊野館
眺め遣る折爪岳や棚霞

【二月席題詠より】
春炬燵世界広がるスポーツ祭 (赤藤)

冬の夜や読み手の技か涙顔 (雪女)

春こたつ俳句と共に暮らしをり (雪女)

下萌や消してはならぬ俳句の灯 (ふみ女)

眼裏に誰彼の顔卒業期 (ふみ女)

人棲まぬ屋敷辺りの雪嵩む (畦畔)

教え子のアルバムめくる春炬燵 (畦畔)

あの頃の顔の懐し春の雪 (青村)

老健な笑顔集いて二月句座 (青村)

老楽の俳三味や春こたつ (青村)



九曜塾の文部科学大臣表彰の受賞を祝福する関係者

九曜塾に文科大臣表彰

村教育委員会の村学校支援地域本部は12月7日、文部科学大臣表彰を受賞しました。平成27年度から実施している九曜塾の活動が評価され、地域学校協働活動の模範として全国から150団体、本県からは3団体が表彰されました。

九曜塾は村内小学生の土曜学習の場として、村内や周辺地域の文化、歴史、人に触れる体験活動を展開。これまで九戸政実公学習やかんじき体験、村遺跡探検などを実施してきました。活動を通じて郷土への理解と仲間づくりを進め、次代を担うたくましい九戸っ子を育てることを目指しています。

漆原一三教育長は「受賞を機に、地域と学校が連携・協働して社会全体で子どもたちの成長を支え、地域の教育力を生かした取り組みを継続していきたい」と、さらに意欲を燃やしていました。

ジュニアスポーツ教室

村教育委員会ではジュニアスポーツ教室を体育センターで行いました。

3年前から開催しているこの教室を今年は1月21日と28日、2月25日の計3回実施。体育センターの利用促進を図ること、村の子どもたちの運動能力の向上を目指して行われました。岩手大学などから講師3人

を招いた教室に、15人が参加。虫歩き運動、ワニ歩き運動、アヒル歩き運動、もも上げ運動などを行い、体の使い方の指導を受け、柔軟性の向上や正しい姿勢を保つ体の使い方を学びました。



指導者のアドバイスを受けながら体を動かす参加者

村スキー選手権大会は2月25日、村営くのへスキー場で開かれ、47人が集まり、今まで培ってきた技術を競い合いました。選手たちは男女年齢別14部門に分かれて、ダイナミックコースで大回転競技による1本のタイムで優勝を争いました。小雪が舞う中、選手

スキー選手権



小学校5・6年男子の部で2位に輝いた松澤來也君

たちは心技体を競い合い、100分の1秒を争いました。

競技の結果、本村の入賞者を紹介します。(敬称略)

■小学校3・4年生女子

①坂本桜凜(くのへジュニア)

■同男子

①下館大輝(同)

②古館明澄(同)

■同5・6年女子

①坂本星凜(同)

■同男子

②松澤來也(同)

小学校3・4年生女子の部で頂点に輝いた坂本桜凜さん(中央)



九 戸 中 学 校

先輩に感謝を込めて

3月9日、九戸中学校では春駒の会を行いました。在校生は今までお世話になった卒業生に対して、感謝の気持ちを込めて合唱や呼び掛けを行い、また先輩一人一人に気持ちを込めたメッセージを渡しました。

先輩たちから

も、感謝の気持ちを後輩たちに伝えました。数日後に控えた卒業式に向けて、先輩後輩が互いに感謝の気持ちを伝え、別れを惜しむ大



感謝の気持ちを伝え合う生徒

切な時間となりました。

最後のエール交換では「私たちは九戸中学校を卒業するけども後は頼んだぞ」「任せてください。この伝統を

Books

◆ 今月のお薦め図書

僕はロボットごしの君に恋をする

山田 悠介 著／河出書房新社



2060年、3度目の東京オリンピック開催が迫る東京で、人型ロボットを使った国家的極秘プロジェクトが進んでいた。メンバーの健は幼馴染の陽一郎とその妹の咲に助けられながら奮闘するが…。ラストに待ち受ける衝撃と涙の結末は？

土の記 上・下

高村 薫 著／新潮社

東京の大学を出て関西の大手メーカーに就職し、奈良県大宇陀の旧家の婿養子になった伊佐夫。妻を失い古希を迎えた伊佐夫は一人で残された棚田で米を作る。



地名の謎を解く

伊東 ひとみ 著／新潮社



地名とは何か。名づけの秘密に迫り、日本人の心を探る。太古の時代「地名」は原初的な神話世界と強く結び付いていた。古代につながる難読地名から平成の市町村合併まで、日本の地名に秘められた意味と歴史の変遷を明らかにする。

ひまなこなべ

萱野 茂 文／あすなろ書房

アイヌは、北海道や日本のあちこちにずっと昔から住んでいる人たちのことです。アイヌの昔話には、人生に大切なことがたくさん詰まっています。遠い昔から語り継がれてきた先住民の知恵に耳を傾けてみませんか。



○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日／年末年始

伊 保 内 高 校

進路決定率100%

進路指導主事 小林 正剛

伊保内高等学校では、今年も進路決定率100%を達成しました。しかも就職は、二戸地区の高校では一番早い昨年11月末日までに全員が内定を決めることが

できました。

生徒の努力はもとより、保護者のご協力、村と村民皆さまの物心両面にわたる、絶大な支援のたまものです。深く感謝いたします。進路先は次の通りです。

【就職先】

生内商事(株) (株)阿部繁孝商店 (株)小田島 (株)昭和食品 (株)P J 二戸フーズ 九戸精密(株) (編)九戸福祉会 (有)阿

【進学先】

部悦三商店 新岩手農業協同組合 (株)宇奈月延対寺荘 (株)成城石井 空港協力事業 (株) (編)信和会
岩手大学 岩手県立大学 釧路公立大学 富士大学 青森大学 仙台大学 岩手県立大学宮古短期大学部 函館大谷短期大学 盛岡大学短期大学部 青森中央短期大学 盛岡看護医療大学 仙台デザイン専門学校 盛岡ヘアメイク専門学校 北日本ヘアスタイリストカレッジ 仙台リゾート&スポーツ専門学校 上野法律ビジネス専門学校

血糖値や中性脂肪が気になる人へ

血糖値や中性脂肪、コレステロール値が気になる人は多いと思います。年齢とともに値は上がってしまうのですが、控えた方が良くといわれる食品を我慢しすぎると、ストレスがたまり、疲れてしまうので、価格が比較的安定していて、手に入りやすい食材でかかず一品増やしてみましよう。

3回の食事をしっかりと取ると、満腹感が持続するので食べ過ぎを防ぎます。また、甘いお菓子やアルコールの量が減り、血中の余分な脂質を減らす効果が期待されます。

お薦めの食材は…

●シイタケ：価格も安定していて、食感が肉に近く、骨を作るのに必要なビタミンDが含まれます。



●もやし：カリウム、カルシウム、ビタミンC、食物繊維が豊富です。ゆでてから炒めるとシャキシャキ感が残っておいしいです。ビタミンCが流れてしまわないよう煮過ぎないのがコツです。

●豆、大豆製品：骨粗しょう症を防ぎ、男性、女性を問わず更年期の不調を和らげるといわれます。

●さば水煮缶：血中のLDLコレステロール（いわゆる悪玉）を下げる効果が期待されます。



●乾物（切り干し大根、ひじき、干しシイタケ）：これらを具だくさんのスープにしたり、少量のベーコンと炒めたり、さつま揚げと煮物にしてもよいでしょう。味付けは薄味にすると素材の味、うまみを感じられます。また、かむ回数が増える食材が多いので、早食いや食べ過ぎも防ぎます。

運動は血中の脂質を下げるといわれます。ずっと座って仕事をしている人、こたつにじっとしている時間が長い人、30分に1回立って歩いてみましょう。手でゴムボールをギュッギュッと握ることで血管年齢が若返る人もいるそうです。忙しい時期ですが元気に乗り越えたいですね。

（栄養士 高見館ハスミ）

国保運営が市町村から県へ

国民健康保険制度はこれまで、市町村が運営していましたが4月からは、県と市町村が共同で運営することになりました。

県は財政運営の主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営の中心的な役割を担います。市町村は資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保険事業など、地域における事業をこれまでと同様に行います。

4月から何が変わるの？

県と市町村が共同保険者となり、被保険者証の様式や高額療養費の多数回該当の算定方法が変更になります。

手続きはどうなるの？

各種申請や届け出は、これまで通り村の窓口で手続きできます。資格は、都道府県単位となり、県内の他市町村へ住所が変わった場合でも、基本的に資格が引き継がれます。

ただし、新住所地で新しい保険証を発行しますので、手続きが必要です。国保の加入・脱退は、届け出によって行いますので、忘れ

ずに手続きをしてください。

国保税はどうなるの？

村は、県から示される標準保険料を参考に、保険料率を決定します。

被保険者証が変更

被保険者証に県名が表記されます。平成30年10月1日から利用する保険証から変わります。

《 改正案 》

岩手県 国民健康保険被保険者証	有効期限	年 月 日
記号 氏名 生年月日 適用開始年月日 交付年月日	番号 性別 年 月 日 年 月 日	日 日 日 日 日 日
世帯主氏名 住所 保険者番号 交付者名		印

市町村印

県名が入ります

市町村による資格管理の開始日が入ります

交付者はこれまで通り市町村です

（国保担当 小野寺さゆり）

問 住民生活課 国保住民班 ☎ 42 2 1 1 1 1 内線 2 1 1

問 二戸年金事務所 ☎ 23 4 1 1 1

マイナンバーで届け出、申請が可能

3月5日から、マイナンバーによる年金請求の手続きや諸変更などの各種手続きの届け出、申請が可能になりました。

マイナンバーを使い各種手続きを行う場合は、窓口において本人確認を行う必要があります。そのため、①マイナンバーが正しい番号であること、②マイナンバーを提出する人がマ

イナンバーの持ち主であること、確認(身元確認)するため、以下の書類で確認します。

- ① 番号確認書類(マイナンバーカード、通知カード、マイナンバーが記載された住民票の写し)
- ② 身元確認書類(マイナンバーカード、運転免許証、旅券など)

消防署たより

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42 3 1 1 9

5月31日まで山火事防止月間

■山火事防止運動統一標語
小さな火 大きな森を破壊する

3月1日から5月31日までは山火事防止運動月間です。空気が乾燥し、山火事が多く発生する季節になりました。火の取り扱いには十分注意しましょう。



■山火事防止運動重点事項

- ① たき火をしたらその場を離れず完全に消火すること
- ② たばこの吸い殻は投げ捨てないこと
- ③ 火遊びはしないこと

村内の火災・救急(2月分)

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	0件	0件	±0件
救急	30件	54件	+14件

駐在所ホットライン

問 二戸警察署九戸駐在所 ☎ 42 2 2 1 0

4月6日から春の全国交通安全運動

■実施期間

4月6日から15日までの10日間

■運動重点

【子どもと高齢者の事故防止】

子どもは興味のあるものを見つけると周囲を見ずに飛び出すなど、思いもよらない行動を取ることがあります。

運転中に子どもを見掛けたら飛び出しなどの危険を予測し、速度を落とし、安全な間隔を保って走行しましょう。

【自転車の安全利用の促進】

自転車は歩道を通行できる場合でも歩行者優先です。歩行者の通行を妨げるときは必ず一時停止をしましょう。

【シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底】

運転手の皆さんは、車に乗った全てのの人にシートベルト、チャイルドシートを正しく着用させ、交通事故から大切な命を守りましょう。

【飲酒運転の根絶】

飲酒運転は、悪質な犯罪行為です。少量のアルコールでも脳の機能がまひし、運転に必要な注意力や判断力を低下させ、大きな事故を起こす原因となります。

「飲酒運転をしない・させない」を合言葉にドライバーはもちろん、周囲の人も協力して飲酒運転を根絶しましょう。

STOP! 飲酒運転



村内の交通事故(2月分)

区分	件数	1月から累計	前年比
人身事故	0件	0件	±0件
物損事故	9件	18件	+4件
負傷者	0人	0人	±0人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転検挙者	0人	0人	±0人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数... 1238日 (2月28日現在)



春の地域安全運動 4月6日～15日

4月6日～15日まで春の地域安全運動を開催します。犯罪のない安全で安心な村づくりに向け、下記に注意しましょう。

■特殊詐欺の被害防止

架空請求詐欺やオレオレ詐欺に注意しましょう。一人で判断せず誰かに相談しましょう。

■子どもと女性の安全確保

子どもと一緒に通学路を歩き、安全な場所と危険な場所を確認しましょう。

■鍵掛けの励行

自宅や車、自転車などの鍵掛けを徹底しましょう。

■問い合わせ 総務企画課庶務財政班 (☎ 42-2111 内線 166)

5月12日は民生委員・児童委員の日

5月12日を民生委員・児童委員の日と定め、同日から1週間を活動強化週間として全国的に民生委員・児童委員活動の普及・啓発に取り組みます。

■実施期間

5月12日(土)～18日(金)

■一斉取組日 5月13日(日)

■民生委員・児童委員

厚生労働大臣から委嘱された地域福祉の推進役です。

■活動内容

お年寄りや生活困窮世帯などの相談に応じながら、地域全体の見守り・訪問活動などを行っています。

■問い合わせ 住民生活課地域福祉班 (☎ 42-2111 内線 201)

飼い猫以外の猫に餌を与えないで!

かわいそうだからと、飼い猫以外の猫に餌を与え始めると、そこに住み着いてどんどん繁殖します。

その結果→

◎生きられない子猫や処分されてしまう猫が増える

◎周辺のふん尿汚染や泣き声などで近所迷惑となる

…などの問題が発生します。



猫に餌を与えることは、その猫の飼い主になるということです。飼い主には、その猫の健康・安全管理からふん尿の始末・周辺環境への配慮などの責任が伴います。

→責任を持ってない餌やりはやめましょう

■問い合わせ 住民生活課保健衛生班 (☎ 42-2111 内線 123)

休日当番医 (9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
4	8	浄法寺診療所	38-2021
	15	いちの内内科クリニック	33-2701
	22	すがわら消火器内科	23-2879
	29	よこもり眼科クリニック	22-2230
	30	金田一診療所	27-2205

休日当番歯科医 (9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
4	8	岩淵歯科医院	32-2238
	15	こしみず歯科クリニック	33-4618
	22	渡辺歯科医院	23-2052
	29	沢藤歯科医院	25-4002
	30	国香歯科医院	23-2223

ごみ収集日 4月

収集区域	瀬内内/宇堂口/泥の木/平内/妻の神戸田上・下/館の下山根/荒谷/ニツ家	鹿島/伊保内上・下川向/南田	小倉/長興寺上・下大向/五枚橋/荒田雪屋/田代/柿の木江刺家上・下/道地丸木橋/山屋/細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
ビン・金物	4月2日(月)	4月3日(火)	4月9日(月)
空き缶	4月16日(月)	4月17日(火)	4月23日(月)
粗大ごみ	4月10日(火)		4月24日(火)
紙・プラ類	4月12日(木)	4月18日(水)	4月26日(木)

※指定日に、指定の袋で出しましょう。

◎住民生活課保健衛生班 ☎ 42-2111 内線 123

多重債務の悩み ご相談ください

東北財務局盛岡財務事務所では、借金を抱え悩んでいる人の相談に無料で応じています。

■相談専用電話

019-622-1637

■受付 月～金曜日(祝日除く)

午前8時30分～午後4時30分

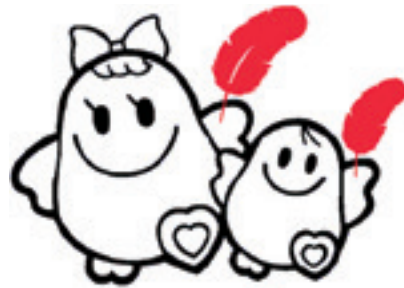
■場所 盛岡合同庁舎4階

東北財務局盛岡財務事務所

■問い合わせ 東北財務局盛岡財務事務所理財課 (☎ 019-625-3353)



福祉活動費 一部を助成



愛ちゃんと希望くん

村共同募金委員会では、皆さんから協力いただいた赤い羽根共同募金を基に、さまざまな福祉事業を展開しています。

そこで、平成30年度の赤い羽根共同募金を基に、翌年平成31年度に実施を予定している村内福祉活動実施団体に活動費の一部を助成します。

■対象団体

地域福祉活動実施団体（各種福祉団体、自治会、町内会、福祉施設など）

■対象事業

地域での高齢者見守り活動、子育てサロン、地域の福祉活動、社会福祉を目的とする事業など

■募集締切 4月27日（金）

■助成の決定

申請後、審査委員会で審査の上、村募金委員会で審議され、県共同募金会で助成が決定されます。

■申し込み・問い合わせ

村総合福祉センター内・村共同募金委員会、村社会福祉協議会（☎41-1200）

※申請用紙は村社会福祉協議会にあります。

県北バスの運行 一部を変更

4月から県北バスの運行経路が一部変わります。軽米町内を運行していたバスがオドデ館まで運行を延長し、軽米病院への通院が便利になりました。

■伊保内支所～軽米間

▷オドデ館 午前9時18分→

軽米新町 午前10時10分

▷オドデ館 午後3時17分→

軽米新町 午後4時10分

▷軽米新町 午前8時40分→

オドデ館 午前9時11分

▷軽米新町 午後1時45分→

オドデ館 午後2時46分

■循環バス（水曜コース）江刺家方面

▷三沢 午前9時32分→

伊保内営業所 午前10時20分

▷伊保内営業所 午後2時10分→

長興寺小学校前 午後3時2分

■その他 各停留所や詳細については時刻表を確認ください。

■問い合わせ 県北自動車株式会社一戸営業所伊保内支所（☎42-2211）、総務企画課地域振興班（☎42-2111 内線172）

編集後記

◆人事異動が発表。予想通り広報を卒業。最初は異動したい気持ちがあったのですが、よく考えると、まだやりたかったような気がします。うれしい気持ちより名残り惜しい気持ちの方が強かったです。
◆6年間で撮影した写真は21万枚、発行回数は72回。多くの人に出会い、たくさんのことを学び、厚い支援をいただいたことを大変うれしく思っています。支援・協力いただいた皆さまありがとうございました。（下村）

人のうごき

（平成30年3月1日現在）

●人口 5,902人（-9）

男 2,837人（-6）

女 3,065人（-3）

●世帯数 2,165世帯（-2）

（カッコ内は前月比）

転入 5人（7人）

転出 9人（21人）

出生 5人（7人）

死亡 10人（18人）

（カッコ内は1月からの累計）



元気いっぱいたくましく南中ソーランを披露するひめほたるこども園の園児8人

オドデ塾ふれあい演芸まつり

培われた地域の絆
こぼれる笑顔

オドデ塾ふれあい演芸まつりは3月11日、江刺家小学校体育館で開かれました。この日を楽しみにしていた250人が集まり、培われてきた地域の絆を堪能しました。

ステージでは踊りや神楽など18演目が披露され、きりりとした演舞やユーモアあふれるコントに、来場者からは笑顔がこぼれ、癒しのひとときを満喫していました。



初ライブを披露するR & Y(中村蓮君)

また、昨年全国高等学校総合文化祭で3位相当に輝いた、伊保内高等学校郷土芸能委員会も出演し、堂々とした迫力ある江刺家神楽の演舞がまつりを盛り上げていました。修学旅行をテーマにしたオドデ塾塾生によるコントでは、趣向を凝らした演出に会場は笑い声や笑顔で包まれ、来場者は幸福なひとときに酔いしれていました。

また、ひめほたるこども園の園児8人も駆け付け、小さな体で元気いっぱい南中ソーランを堂々と踊っていました。

今回は抽選会を4回開催。最初から最後まで楽しんでいるお客様に感謝の気持ちを込めて、豪華な多数の景品が来場者に配布されました。

笑いが止まらなかったオドデコント



ダンシングヒーローを笑顔で踊る、なっちゃんとうかいな仲間たち



発行／岩手県九戸村 ■編集／総務企画課
①028-6502
岩手県九戸郡九戸村大字伊保内第10地割11番地6

電話番号／0195(42)2111(代)
メールアドレス／kunoh@vill.kunoh.iwate.jp
ホームページ／http://www.vill.kunoh.iwate.jp/